

もうすぐ冬休みになります。寒い寒い冬ですが、風邪やインフルエンザに気をつけて、冬を乗り越えましょう！！

中学部保護者対象進路研修会について

11月26日(木)に中学部3年保護者17名が参加し、進路研修会が開催されました。来年度、高等部に進学を予定している生徒の保護者が本校の進路状況の現状について理解し、今後の家庭での取り組みや生徒支援に資することを目的として、高等部の山本進路指導主事を講師に迎え、主に「進路ガイダンス」について研修を深めました。当日は高等部進学後の学校生活や卒業までに身につけておきたいことなどについてお話を伺うことができました。

子どもたちが今後、将来の社会参加と豊かな自立に向けて一層力をつけていけるようこれからも保護者の皆様や、地域、関係者諸機関と深く連携しながらより充実した進路指導が展開できるようがんばっていかねばと実感いたしました。今後とも保護者の方々の協力が欠かせません。子どもたちの大きな未来に向かって共にがんばりましょう。

(中学部)

高等部 1 年 2 学期の取り組み

11月の職場見学は、グルーピングを主体にして、A日課はおりづる作業所、もみじ作業所、友和の里、きつつき作業所、皆賀園で、B日課は清掃訓練事業・南授産所、愛パック・あいの木、山陽タオル・雇用支援センターに分散して実施しました。見学や体験を通して、普段の学校生活とは違う雰囲気を感じた機会となりました。

12月の進路学習では、「高等部2年生の職場体験実習から学ぶ」と題して、実習中の様子や実習を終えた先輩の体験談を収録したビデオを視聴しました。

これらの進路学習を通して、一人一人が感じたことを、1月下旬に実施される校内実習に生かしていきたいと考えています。一週間、同じ仕事や活動を仲間とともに続ける中で、雰囲気を感じ、今後の自分を考えていく機会にしたいと思います。

(高等部 1 年)

高等部 2 年生 職場体験実習経過報告その 2(企業での実習より)

高等部 2 年生では、9 月より職場体験実習が始まりました。具体的な体験を通して、将来の進路や社会生活について考える機会となるように取組を進めています。施設、作業所・デイサービスの実習に続いて、11 月から企業での職場体験実習が始まりました。企業で実習をするために高等部 2 年生が取り組んだ学習を紹介します。

1 学期から「社会人になるためのマナー講座 入門編」というタイトルで、「健康管理」「あいさつ」「身だしなみ」とそれぞれのテーマについて学習しました。仕事をするためには毎日の生活を整えることが必要で、学校生活や家庭で取り組むことは何かを考えました。「卒業生から学ぶ」学習では、仕事と毎日の生活についてビデオや先輩の話を変えて学習しました。また、職場体験実習結団式では、一人一人の生徒が実習に向けての思いや目標を発表し、社会にチャレンジする仲間を励まし合い、支え合える雰囲気をつくりました。

すでに実習を終えた生徒からは「仕事はスピードと丁寧さのバランスが大切」「返事をしていたつもりでも聞こえていなかった」「学校で勉強するより仕事は大変」「体力をつけなければ」などの感想があげられました。「実習をがんばった」という充実感だけでなく、自分の課題を感じられる実習になっているようです。

高等部 2 年生の職場体験実習は 2 月下旬まで続きます。クラス、学年のみんなで応援しています。
(高等部 2 年)

高等部 3 年生 進路の取り組み

12 月に入り、障害者自立支援法に基づく支給申請（施設・デイサービスの申請手続き）がスタートしました。実習を行い、来年度春からの利用について適切な進路先として判断された方については、12 月 1 日から 14 日までの 2 週間で各区保健福祉課に申請を行いました。利用可能な受入枠よりも希望者が多い場合には抽選会が 1 月末に実施され、待機順位の決定がなされます。支給決定は 3 月初旬頃に分かりますが、春から利用が可能であれば受給者証が交付されます。また、小規模作業所・地域活動支援センター 型を希望する方については、随時、学校から入所申請書類を提出し、運営委員会等の検討を経て受諾書が学校に送られてきています。就職希望者についてはハローワークと連携をとりながら実習を行い、採用の方向で求人票をいただいた場合、学校から応募書類を提出して内定通知をいただくという流れで進めています。

まだまだ進路決定がはっきりとせず、不安を感じる生徒が少なくないと思いますが、卒業後の生活をしっかりイメージしながら、残り少ない学校生活に課題意識をもって取り組み、学校から社会へのスムーズな移行ができるようサポートしていきたいと思っています。

(高等部 3 年)